

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	観光ガイド小冊子製作事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、市外の観光客	意図	観光交流人口の増加並びに市民に対し、本市の歴史・文化への理解を深めていただくことを目的に、観光施設等を掲載した観光マップを作成する。
事業内容	流山市観光ガイド小冊子（ことりっぷ 流山さんぽ、切り絵行灯 おさんぽガイド）の作成。			
事業開始から現在までの状況変化	従来の観光マップを改め、女性をターゲットにした効果的な観光情報の発信を行うことを目的に「働く女性・週末の小さな旅」をコンセプトに「ことりっぷ 流山さんぽ」を作成。市内、鉄道会社、高速サービスエリア、都内書店など効果ある場所に配布した。 また、流山本町に約100基点在する行灯を「切り絵行灯おさんぽガイド」にまとめ、観光資源の周知を図り集客に努めた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	観光マップ配布部数	13,500	16,000	30,000	部	↑↑↑
②	利根運河交流館来館者数	43,772	54,535	33,551	人	↑↑↑	実績
③	見世蔵来館者数	12,065	11,721	11,040	人	↑↑↑	実績
④	観光ウェブマップアクセス数	49,798	30,093	29,001	件	↑↑↑	実績
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						流山本町のマーケット調査を実施した結果、来訪者の7割が女性であったことから、一番のボリュームゾーンに向けたマップを製作する目的でスタートした事業である。そこで女性に大変好評な「ことりっぷ」とコラボし「ことりっぷ 流山さんぽ」が誕生した。この狙いは的中し、観光客を引き込むことが出来る情報ツールとなっている。この取組みが高く評価され、多くの自治体から視察や問い合わせを受けている。なお、例年年度末近くになると、在庫切れとなり、配布調整を行っており、製作部数を増やす必要が生じている。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,348,240	2,314,400	3,604,760				
事業費(b)(円)	975,240	972,000	2,286,360				
うち一般財源	975,240	972,000	2,286,360				
職員給与費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	基本的コンセプトは変更せず、最新の情報に修正し的確な情報を提供する。	③取組における課題(Check)	デザイン、内容とも好評であり、人気が高いことから在庫数が不足してしまっている。
②H30に実施した取組(Do)	最新の情報提供を行うための修正を行い、基本的コンセプトを維持した冊子を作成した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	非常に好評であることから、コンセプトは引き継ぎ、情報を最新のものに改編し、制作部数を増やす。